

カキ生育情報

千葉県
平成30年12月号

一年間の気象

平成29年12月から平成30年11月までの月別気象を表1に示した。月平均気温は、平成30年3月～11月の9か月で平年と同じか上回った。1年間の平均気温は16.4℃で平年より0.8℃、前年より0.7℃高かった。降水量は平成29年12月、平成30年2月、4月、7月～8月及び10月の6か月で平年を下回った。1年間の合計は1,837mmで平年の90%、前年の87%であった。日照時間は平成30年9月及び11月を除く9か月で平年を上回った。1年間の合計は2,236時間で平年の115%、前年の105%であった。

表1 平成29年12月～平成30年11月の気象（暖地園芸研究所）

年 月	平均気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（時間）		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
H29 12	7.7	8.6	9.6	42	85	119	191	165	188
H30 1	5.8	6.0	6.1	111	90	66	193	170	206
2	6.0	6.3	7.0	21	97	29	161	152	185
3	11.8	9.2	8.1	204	186	148	200	157	173
4	16.2	13.9	13.8	69	174	212	205	172	184
5	18.7	17.8	18.5	229	174	115	203	177	229
6	21.4	20.7	20.9	282	244	151	174	133	163
7	26.5	24.4	25.6	155	194	39	256	169	250
8	26.8	26.0	25.6	25	144	140	255	217	156
9	22.7	22.7	22.5	416	250	282	115	145	134
10	18.9	17.9	17.7	123	250	525	151	137	99
11	14.0	13.2	13.6	162	148	289	135	145	156
平均/合計	16.4	15.6	15.7	1,837	2,037	2,113	2,236	1,939	2,124

本年度産果実の特徴

暖地園芸研究所（以下暖地園研）における発芽期は、「西村早生」、「松本早生富有」及び「富有」のいずれも平年より8～9日早い3月中旬であった。その後、4月～5月にかけても高温が続いたため、開花盛期は各品種とも平年より12～16日早く、調査開始以来最も早かった。生理落果及び着果量はともに平年並であった。

収穫期

暖地園研における収穫期は表2に示した。収穫始期、盛期及び終期はそれぞれ、「西村早生」が9月11日、20日、10月2日、「松本早生富有」が10月4日、21日、11月9日、「富有」が10月13日、11月10日、20日であった。収穫始期は平年より「西村早生」及び「松本早生富有」が7日、「富有」が9日早かった。盛期は平年より「西村早生」が8日、「松本早生富有」が3日早かったが、「富有」は3日遅かった。終期は平年より「西村早生」が5日早かったが、「松本早生富有」及び「富有」は3日遅かった。

市原市の「松本早生富有」の収穫始期、盛期及び終期は、それぞれ10月7日、11月3日及び17日で、前年より始期が5日、盛期が14日、終期が15日遅かった。

果実の品質

収穫果実の大きさ、糖度、へたすき及び汚損果程度は表3に示した。1果平均重は、「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均で見るとそれぞれ198g、225g、「富有」が277gであった。「西村早生」は平年並、「松本早生富有」は平年よりやや小さく、「富有」は平年より大きかった。

糖度は、「西村早生」及び「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ14.7、16.5、「富有」が16.7であった。平年に比べて「西村早生」は0.1、「松本早生富有」は1.0、「富有」は1.4、いずれも高かった。へたすきは3品種とも前年と同様に少なかった。汚損果は「西村早生」では前年と同様に少なく、「松本早生富有」及び「富有」では前年より少なかった。

表2 収穫期（暖地園芸研究所）

品 種	収穫始期(月・日)			収穫盛期			収穫終期		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西村早生	9.11	9.18	9.19	9.20	9.28	9.22	10.2	10.7	10.6
松本早生富有	10.4	10.11	10.6	10.21	10.24	10.15	11.9	11.6	11.2
富 有	10.13	10.22	10.10	11.10	11.7	10.21	11.20	11.17	11.5

平年：1997～2017年の平均

表3 果実の大きさと品質

品 種	調 査 地	1果平均重(g)			糖度計示度(Brix)			へたすき		汚損果程度	
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	前年	本年	前年
西村早生	いすみ市	186	197	188	14.6	14.5	15.7	—	—	—	—
	暖地園研	210	199	207	14.7	14.8	15.5	無	無	微	微
	平 均	198	198	197	14.7	14.6	15.6	—	—	—	—
松本早生富有	市原市	189	216	139	16.8	15.9	17.8	—	—	—	—
	暖地園研	260	248	271	16.2	15.0	16.3	微	微	微	中
	平 均	225	232	205	16.5	15.5	17.1	—	—	—	—
富 有	暖地園研	277	253	229	16.7	15.3	15.2	微	微	微	中

平年：暖地園研は1990～2017年の平均、いすみ市及び市原市は1998～2017年の平均

12～5月の作業

整枝・せん定

落葉後から発芽前の12月～2月に実施する。結果母枝の充実度を確認した上で、結果過多にならないように留意し、間引きせん定を中心に行う。不必要な徒長枝と軟弱枝はせん除し、枝が密集した部分は適宜間引いて風通しを良くし、病害虫の発生を防ぐ。

摘 蕾

開花10日前～開花直前（5月上中旬頃）に行う。摘蕾は樹体の消耗を抑え、大果及び高品質果生産と隔年結果防止の効果がある。着蕾数が多い場合は、充実した花蕾を1結果枝に1蕾残す。着蕾数が少ない場合は、小花や奇形花を落とした後、充実した結果枝には2蕾残すなど慎重に行う。

病害虫防除

落葉の処分と粗皮削りは、病害虫の越冬源を絶つため防除効果が高い。カイガラムシ類の防除は休眠期の12月～2月が、うどんこ病、落葉病及び黒星病の防除は発芽前の3月中下旬が、それぞれ適期である。また、展葉期の4月下旬は、うどんこ病、ハマキムシ類、フジコナカイガラムシ及びチャノキイロアザミウマの防除適期である。防除に際しては、千葉県農作物病害虫雑草防除指針を参考に行う。

なお、表の数値は表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>